研究テーマ	内 容	発表方法, 媒体 (研究誌名, 研究会等名)
美術図書館の機能要件に関する調査研究	「美術展カタログの収集と提供 - ALCとJACのプロジェクトを通して」(講演)と題して、国内外における美術図書館の相互協力及び資料リ・ユースについて、現状と課題を報告した。	平成17年度全国図書館大会第5分科会(専門図書館), 平成17年10月27日
美術図書館の機能要件に関する調査研究	「ARLIS/Asiaの可能性 - 日本のアート・ドキュメンテーション、その達成と課題を踏まえて」(講演録)と題して、日本における美術図書館の史的変遷を踏まえて、東アジア地域での国際連携の可能性を検討した。	『国際シンポジウム「東アジアにおける美術・文化財情報のネットワーク化を考える」報告書』アート・ドキュメンテーション研究会, 平成17年1月, p.17-20.
美術図書館の機能要件に関する調査研究	「ミュージアム・アズ・パブリッシャー 『現代の眼』におもうちょう」(論文)と題して、美術館出版物の保存・提供に関わる、美術図書館としての課題を指摘した。	『現代の眼』no.549, 平成16年12月/平成17年1月, p.3.
美術図書館の機能要件に関する調査研究	「ミュージアム・ライブラリの可能性 - 人と情報のネットワークのもとに」(論文)と題して、博物館・美術館附置の専門図書室について、機能・貢献・課題に関する総括的な調査結果を論じた。	『図書館雑誌』vol.98, no.7, 平成16年7月, p.438-441.
美術図書館における参考業務のための資料論に関する調査研究	「書評される美術参考図書 - ARLIS/UK & Eireの機関誌Art Libraries Journal 'Reviews」(論文)と題して、美術参考図書の書評記事について、英国美術図書館協会のArt Libraries Journalの'Review'について分析し、あわせて国内主要美術図書館における所蔵状況を調査した。	『アート・ドキュメンテーション研究』no.11, 平成16年3月, p.91-105.
美術図書館における資料検索機能の拡張に関する調査研究	「アートライブラリから 美術図書館の横断検索 http://alc.opac.jp/ 」(論文)と題して、美術図書館間の横断検索機能の開発について報告した。	『現代の眼』no.546, 平成16年6/7月, p.14.
美術図書館における資料検索機能の拡張に関する調査研究	「美術図書館横断検索 by ALC - その公開と課題」(論文)と題して、美術図書館のための横断検索サイトALCの公開および展覧会カタログの書誌所蔵情報の現況と課題について論じた。	『アート・ドキュメンテーション研究』no.12, 平成17年3月, p.27-34.
美術館情報システムの機能要件に関する調査研究	「独立行政法人国立美術館所蔵作品総合目録検索システム(http://search.artmuseums.go.jp/)の公開について」(論文)と題して、国立美術館所蔵作品総合目録検索機能の開発について報告し、今後の課題を指摘した。	『アート・ドキュメンテーション通信』no.67, 平成17年10月, p.8-9.共著
美術館情報システムの機能要件に関する調査研究	「事例：東京国立近代美術館の情報システム - 総合と横断をめぐって」(論文)と題して、東京国立近代美術館における情報システム、特にデジタル・アーカイブの課題について論じた。	『デジタルアーカイブ白書 2005』デジタルアーカイブ推進協議会, 平成17年3月, p.44-45.

美術館情報システムの機能要件に関する調査研究	「東京国立近代美術館の情報システム - 本館情報コーナーとアートライブラリーを中心に」（論文）と題して、東京国立近代美術館における情報システムを、特に来館者向け端末の開発とアートライブラリーの公開から紹介するとともに、今後の課題を指摘した。	『情報管理』vol.46, no.3, 平成15年6月, p.[177]-182.
------------------------	--	---